

# 八戸ダム（江の川水系八戸川）の洪水調節効果

7月17日から19日にかけて、梅雨前線が島根県付近で停滞した影響で、八戸川上流域では降り始めから19日8時までの総雨量が210mmに達し、18日23時から24時の間に32mmの激しい雨を観測しました。八戸ダムでは、洪水調節により最大346m<sup>3</sup>/sの洪水に対し111m<sup>3</sup>/sの流量をカットし、ダムがない場合に比べ江尾水位観測所（桜江町江尾）において約16cm水位を下げ、下流の被害を未然に防ぎました。

